

病害虫防除技術情報第 1 号

令和 4 年 4 月 4 日
三重県病害虫防除所

本年はムギ類の開花が平年並の予想です。ムギ赤かび病の防除は、適期を逃さず、開花始めから開花盛期に行いましょう！

1. 対象作物： ムギ類

2. 対象病害虫名： ムギ類赤かび病

3. 生育と気象の状況

(1) 本年のムギ類の生育は昨年秋から気温が平年並に推移し、3月中旬に高い日があったことから、**出穂期は平年並からやや早く、開花始めは伊勢平坦部で4月中～下旬頃となる見込みです。**

(2) 農業研究所(松阪市)11月12日播種の「あやひかり」では4月上～中旬に出穂の予想です。開花始めは通常出穂の7～10日後ですが気温の推移によって前後します。圃場の観察を行い防除の準備をしてください。

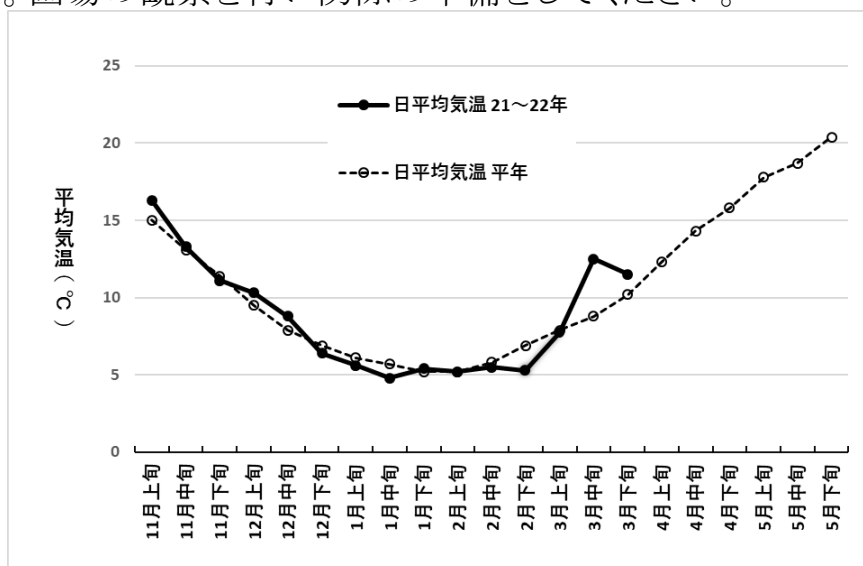


図 アメダスポイント津における旬平均気温の推移(2021.11～)

(3) ムギ類では開花から10日前後の間が赤かび病に最も感染しやすく、この間に降雨があつて気温が20～27℃の時に感染が激しくなります。1か月予報(3月31

日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう 1 か月の気温は、平年より高くなる予報です。降水量、日照時間は、ともに平年並の見込みです。出穂および開花の時期を把握するとともに、今後の天候に注意してください。

赤かび病は、開花期に降雨があり、気温が高いと感染し発生しやすくなります。

4. 防除対策

- (1) 防除適期は開花始めから開花盛期です。開花前、あるいは開花後の薬剤散布では防除効果が劣ります。薬剤は三重県農薬情報システム (<https://www.nouyaku.sys.com/nouyaku/user/top/mie>) で検索することができます。
- (2) 圃場をよく観察して、播種時期ごとに出穂および開花状況を把握し、薬剤散布を行ってください。
- (3) 開花期以後に降雨が続き、気温が高く推移した場合は、開花期防除の 7～10 日後に追加防除を行きましょう。
- (4) 散布薬剤は、系統の異なる薬剤をローテーション散布し、感受性の低下を防止しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。
